

江商連ニュース



令和元年11月発行 江東区商店街連合会 情報・広報部
江東区東陽4-5-18江東区産業会館内 TEL 3645-1231 FAX 3645-1150



第三十七回江東区民まつりは十月十九日(土)・二十日(日)の両日、都立木場公園にて盛大に開催されました。

江東区商店街連合会では例年通り「ふるさとまつりバザール」を開催し「一〇%プレミアム付江東区内共通商品券」を各日三、〇〇〇セット、総額六、〇〇〇万円を販売しました。

初日の朝は小雨の降るあいにくの天気でしたが、区内共通商品券の販売開始一時間前時点で四〇〇人程の方が並び相変わらずの人気でした。中学生以上一人五万円までの販売でしたが、両日とも一〇時から販売で

第37回江東区民まつり中央まつり ふるさとまつりバザール開催

十一時過ぎには完売となりました。この商品券が商店街の活性化の一助になることを願う次第であります。

また、バザールコーナーでは区内の商店街から三十五店舗が出店して、野菜、飲食物から雑貨まで様々なお店が並びました。どのお店も盛況だったようです。

さらに、今年もお並びいただいたお客様および会場にお越しの皆様にご喜んでいただけのように、人力車の無料乗車、街角アーティスト等によるパフォーマンスも披露して、会場に花を添えました。

二日目は素晴らしい好天にも恵まれ、来場者は江東区発表で延べ



▲岡崎屋：人力車無料乗車

四十万人強ということでした。

最後に、江東区長はじめ江東区関係各位のお力添えに加え、早朝からご協力いただいた江商連役員・会員の方々およびアルバイトの皆様により感謝申し上げます。



【出演アーティスト】



▲SOU：音と魔法のエンターティナ



▲しばたふみ：バルーンアーティスト



▲はさみ家紙太郎：紙切り芸



▲西垣恵弾：バイオリン演奏

江東区内共通商品券 抽選販売終了

江東区民まつりで販売した共通商品券6,000万円分に加え、当日会場に来られない方のために昨年からはじまったハガキ応募による1,000万円の抽選販売が今年も行われました。

締切りまでに来た応募ハガキ数は700通を超え、10月28日江東区産業会館内にて区経済課商業振興係長の立会いの下、渡辺会長により抽選が行われ346人の当選者が決定しました。

11月7日から当選者に当選通知を送付し、11月14日～20日まで江東区産業会館にて商品券引換販売が行われました。

当選者の居住地は、区民まつり会場から離れた亀戸・大島・砂町・豊洲地区が多く見られ、抽選販売の趣旨が生かされた内容となりました。来年度も区民まつりでの購入が難しい方でも利用しやすいよう、抽選販売を実施していきたいと考えています。



東京都最低賃金は10月1日から 時間額1,013円になります

東京都最低賃金については、東京労働局長が時間額1,013円に改正決定し、令和元年10月1日から効力が発生します。

東京都内で事業を営む使用者は、効力発生後の労働に対し、東京都最低賃金である時間額1,013円以上の賃金を支払わなければ、最低賃金法違反となります。

東京労働局では、引き続き、改正された最低賃金額を始めとする最低賃金制度の周知及び中小企業・小規模事業者に対する支援施策を推進し、併せて都内各労働基準監督署において監督指導を実施する等により、履行確保を図ります。

1. 最低賃金について

(1) 適用

東京都最低賃金は、年齢やパートタイマー・アルバイトなどの働き方の違いにかかわらず、東京都内の事業場で働くすべての労働者に適用されます。

なお、派遣中の労働者については、派遣先の事業場に適用される最低賃金が適用されます。

(2) 金額

次の金額は、最低賃金に算入されません。

- ① 精皆勤手当、通勤手当及び家族手当
- ② 臨時に支払われる賃金（結婚手当など）
- ③ 1月を超える期間ごとに支払われる賃金（賞与など）
- ④ 時間外労働、休日労働及び深夜労働の手当

2. 厚生労働省では、最低賃金及び賃金の引上げに向けた環境整備を図るため、以下の生産性向上等のための支援を実施しています。詳しくは東京労働局・最寄りの労働基準監督署まで

- (1) 業務改善助成金
- (2) キャリアアップ助成金（賃金規定等改定コース）
- (3) 人材確保等支援助成金
- (4) 「東京働き方改革推進支援センター」

江東区商店街連合会 新年賀詞交歓会のお知らせ

日時：令和2年1月29日（水）午後6時～
場所：アンフェリシオン 亀戸1-43-22
皆様のお越しをお待ちしております



江商連ニュースでは商店及び商店街の広告を募集しています。詳しくは商連事務所まで。

亀戸情報発信メディア「カメイドタートルズ」始動!

地元亀戸の観光協会や商店街の方々のご協力いただき亀戸活性化を目指すサイトがオープンしました。

2020年に向けて江東区湾岸エリアが注目される中、同じ江東区の「亀戸」にも注目が集まるよう、亀戸の「多彩なグルメ」「歴史あるスポット」「心温かい人々の姿」をありのままに発信していくというコンセプトで新たに立ち上げたサイトです。

ガイドブックには載っていない、亀戸に住む人だからこそ、亀戸を愛している人だからこそ、知っている情報を発信しています。



当メディアの立ち上げにあたり、1997年から2016年の閉館まで長きに渡り亀戸を盛り上げ、有名アーティストの聖地としても伝説となった「サンストリート亀戸」の館長を務めた、ワイサポート株式会社の会田博様に本サイトを

盛り上げていくキャプテン(特別協力)として参加いただいた他、亀戸観光協会様、亀戸の各商店街の皆様にもご協力いただいたとの事です。

オープン第1弾は大人気の「亀戸餃子本店」を取材し、味はもちろんオーナーの想いにもフォーカスした記事を掲載しています。まだまだ、記事は少ないですが皆様のご協力で内容を充実していきたいとの事なので、実行委員会の今後の活動に注目していきたいと思います。

<https://kameido-turtles.jp//>

●カメイドタートルズ実行委員会

【特別協力】 ワイサポート株式会社(旧サンストリート亀戸運営会社)

【協力】 亀戸観光協会・亀戸十三間通商店街(振)・亀戸天神通り商店街(振)・香取勝運商店街・亀戸五丁目中央通り商店街(振)・五ノ橋豊国通り商店街

【後援】 野村不動産株式会社

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 応援フラッグ掲揚事業へのご協力依頼

江東区地域振興部経済課

このたび、上記2大会の気運醸成として東京都と江東区でオリンピック・パラリンピックフラッグを下記の通り設置いたします。東京都の「東京2020オリンピック・パラリンピック協議大会」フラッグとは別に、2020大会の競技場が都内最多となる区として、区名と江東区商店街連合会名を記載した応援フラッグの掲揚を計画しています。

掲揚に関し、商店街の皆様のご協力をお願い申し上げます。

お問合せは：江東区地域振興部経済課商業振興係 長尾・橋本
電話 03-3647-9502

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
東京都オリパラフラッグ				江東区仕様オリパラフラッグ				

キャッシュレス導入調査のお願い

江東区中小企業診断士会

江東区中小企業診断士会では今年11月から来年9月頃にかけて、キャッシュレス導入に関し導入店、非導入店にかかわらず調査・分析・プロモーション等を実施します。

現地調査に関しては、調査対象商店街を選定し1商店街5店舗以上で中小企業診断士が直接お伺いしてご意見・ご希望・問題点などを聞き取り調査します。1店舗あたり10分程度を予定しています。

後日、対象商店街の選定、個店の選定等行いますのでご協力のほどよろしくお願い致します。

●事業構想(ロードマップ)

【11月】(開始) 【1月】(現状調査) → (区協力要請)

【2月】(分析・計画) → (事業者協力要請)

【3~6月】(導入支援) → (プロモーション)

【7~9月】(オリパラ)

常任理事会報告

八月常任理事会 休会

九月十日(参加十三名)

- 一、江東区民まつり出店説明会開催の件
- 一、プレミアム付共通商品券販売の件
- 一、江東区中小企業活性化協議会報告
- 一、キャッシュレス導入報告

一、ラグビーワールドカップフラッグ掲揚の件

十月八日(参加十八名)

- 一、SHOURENフェスタ開催の件
- 一、江東区民まつり中央まつり詳細協議
- 一、ラグビーワールドカップフラッグ掲揚の件
- 一、オリパラフラッグ掲揚の件

十一月十二日(参加十七名)

- 一、ふるさとまつりバザール反省
- 一、時間外労働等改善助成金申請について
- 一、ラグビーワールドカップフラッグ撤去の件
- 一、オリパラフラッグ掲揚の件
- 一、新年賀詞交歓会開催の件

編集後記 情報・広報部 石井正彦

ラグビーワールドカップが多くのかつファン」を巻き込んで日本中で盛り上がりました。足の早い人、押されても動かない人、笑わない人?、個性的な人が集まってワンチームになっていました。この個性的な集まりは商品構成に役立つヒントになるかもしれません。

ラグビーと言えば、商店街に掲出していたフラッグが早速ネットオークションに何点も出品されていたそうです。このフラッグは東京都が撤去・廃棄まで区商連に委託したもので、都では出品者に対し厳正に対処するそうです。この出品が江東区の商店街から出たものでは無いことを祈るばかりです。くすねた物をネットで売るという商魂を自分の商売に向けてほしいと思う「にわかファン」の一人です。

豊洲商友会設立70周年記念式典開催

今年で設立70周年を迎えた豊洲商友会の記念式典が9月22日(日)豊洲シビックセンターにて、山崎江東区長はじめ区関係者、議員各位、各商店会長他多数のご来賓を向かえ盛大に執り行われました。

豊洲商友会協同組合理事長 渡辺 哲三

まずは創立70周年にあたり、皆様に深く感謝申し上げます。我々の先代たちは終戦直後に豊洲に移り住み、昭和24年、何もなかった場所に商店街をつくりあげ、わずか21店舗で豊洲商友会を結成いたしました。

私が理事長に就任した平成12年は、東京都中央卸売市場が築地から豊洲に移転することが決定した年であり、その後は5丁目駅前地区や2・3丁目地区をはじめとする大規模再開発の真っ只中でした。これらの開発等により水辺を活かしたまちづくりも進み、豊洲は東京を代表するウォーターフロントとなりました。

そして70周年を迎えた今年、先代たちが行なった最初の商店街づくり・まちづくりを超えるような再開発が4丁目が始まろうとしています。会員が多く集まる地区であることから、住民をはじめ東京都や江東区と連携しながら、仲間と共に良いまちづくりを進めていきたいと考えております。

再開発とともに住民のみならず来街者も激増し、有楽町線豊

洲駅の1日乗降客数は平均22万人。これは東京メトロで新橋、新宿に続く7番目の規模だそうです。来年には東京オリンピック・パラリンピックも控え、豊洲はその玄関口としてさらに来街者の増加が見込まれております。昨年は豊洲市場も開場しましたが、これからは市場のある街として市場との連携をより密にしておくことも必要となってきます。

また、私どもの商店街ではこれまで「豊洲ブランド」の開発に取り組んでまいりました。「豊洲カレー」にはじまり、今年で5年目を迎えた「豊洲みつばちプロジェクト」は、東京都産業労働局の第13回東京都商店街グランプリで優秀賞を受賞いたしました。話題性だけでなく、仲間が一緒となり継続的に仕事することで更なる結束力

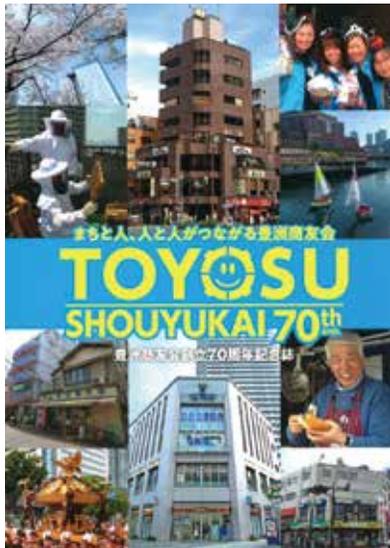
をも育み、新たな取り組みへの大きな弾



みとなっております。

さらに今年には各店の魅力ある商品やメニューを発信する一店逸品事業「豊洲プレミアム」の他、豊洲市場と協力して「豊洲シーフードカレー」を開発いたしました。国土交通省の「スマートシティモデル事業」の先行プロジェクトに豊洲が選出されたことによるキャッシュレス化の推進をはじめとして、まだまだ先進都市になるべく取り組むべき課題は山積しております。

豊洲という恵まれた環境ポテンシャルを活かしながら地域の防災・防犯の要として、また人と人とのコミュニティの中心にある商店街として邁進してまいりたいと考えております。皆様方の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



《こうしん》は地域の皆様のお役に立ちます。

年金のお受け取り・ご相談は、当組合で…

専門のスタッフがご相談にお応えいたします。

ライフサポート・多目的ローン

最高500万円まで ご融資（個人の方限定）
詳しい内容は、お近くの営業店へ…

—— お気軽に、ご相談下さい ——

江 東 信 用 組 合